

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定められているスペースは確保できている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			定められている人数 + α で対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		出入口や敷居に少しの段差はありますが、必要に応じて手すりや歩行等の対応を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		全員参加のミーティング、書面等で公表している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者からいただいたご意見は、職員間で共有し、改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			川原番に研修へ参加できるような体制を整えている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者や相談支援員と連携を図り、課題等を明確にし、ステップアップを積み重ねていけるよう支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを作成し、年1回は必ず更新している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		各分野、得意な職員が主となり立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月～金まで様々なプログラムを曜日固定にて行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇時は、過ごす時間を長く、平日に行えないようなプログラムを行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日におき、個別活動の日を設けたり、集団活動にかき入ったりしている為、その反映に計画書となっている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			申し送り表、細かな部分まで毎日行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日におきた出来事や、児童の様子・行動、お礼、保護者とのやりとり等、共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌を必ず記入し、各児童の様子や、支援計画に基づき、支援を行っている過程等の把握に努めている。

	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1回、評価と見直しを行い、記録し、保管している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		児童の楽しみと鑑み、考えながら、組み合わせさせて支援している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	会議には、基本、管理者が参加しているが、場合によっては、主として支援している職員が参加する。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎時には必ず、担当の先生と、情報共有の時間を設けている。 月には、朝の利用予定等、学校へ伝えられている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			現在受け入れはしていません、今後、受け入れる場合には、体制を整える必要がある。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	現在、新1年生のご利用は少ないが、場合によって、情報共有の場を設けている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		情報が必要な場合は、本人・保護者に同意をいただいた後、提供できる体制を整えている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	定期的に行っているとは言えない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	外出プログラムの際には、定期的に交流を図るようにしている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		定期的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者との連携は密に行い、送迎時の会話はもちろんのこと、利用日以外も連絡がとれる体制を整えている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	今後、対応していただけるように努める。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に必ず説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日頃から相談していたり、環境を整え、相談内容によっては、他関係機関とも協力し、解決に向けて寄り添うように対応している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者も一緒に参加していただけるような催し物を行う事もあるが、活動支援や、連携づくしには至っていない。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応マニュアルを用いて、速やかに対応できる体制を整えており、責任者も西に置いている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業所通信と発行し、活動内容を、
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			金建付書庫にて保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			議以外のコミュニケーション(絵カード等)を用いて伝わりやすく配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		招待する体制は整えている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを策定し、職員会議と定期的に行う2回時に、いつも閲覧できるようにしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2日以上、避難訓練を行い、その内容を記録している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、定期的な会議を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現状、行っている事例はないが、身体的拘束等適正化のための指針や、やむを得ない場合の同意書等、必ず説明を行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギー有無確認は必ず行う事、指示書がある場合はそれに従っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集を用いて、職員ミーティング場と設けている。